

平成28年4月18日16時00分
国土交通省 関東地方整備局
港湾空港部

関東地方整備局 震災対策本部は警戒体制(応援体制)中です

記者発表資料

資機材・支援物資が熊本県へ17日(日)に到着、災害支援活動を展開中
～熊本港において投光器を活用して給水作業を支援中です～

関東地方整備局は、熊本地震の災害支援のため、首都圏臨海防災センター(川崎市東扇島)等から被災地に向け、投光器、仮設テント、災害用トイレ(マンホール利用型)、飲料水等の輸送を4月16日19時より開始したところですが(4月16日付既報)、昨日17日(日)に熊本県に到着しました。

既に投光器は、昨日19時に熊本港に設置し、現地での市民への給水作業用の照明として使用されております。(別添参照)

なお、その他の資機材・支援物資は昨日21時に熊本県庁に引き渡しました。併せてご報告いたします。

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、横浜海事記者クラブ、埼玉県政記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省関東地方整備局 港湾空港部 港湾空港防災・危機管理課
課長 吉田 稔(よしだみのる)
電話 045-211-7427 FAX 045-211-0219

(別添)

作業状況(熊本港における給水支援、投光器による夜間照明の設置)

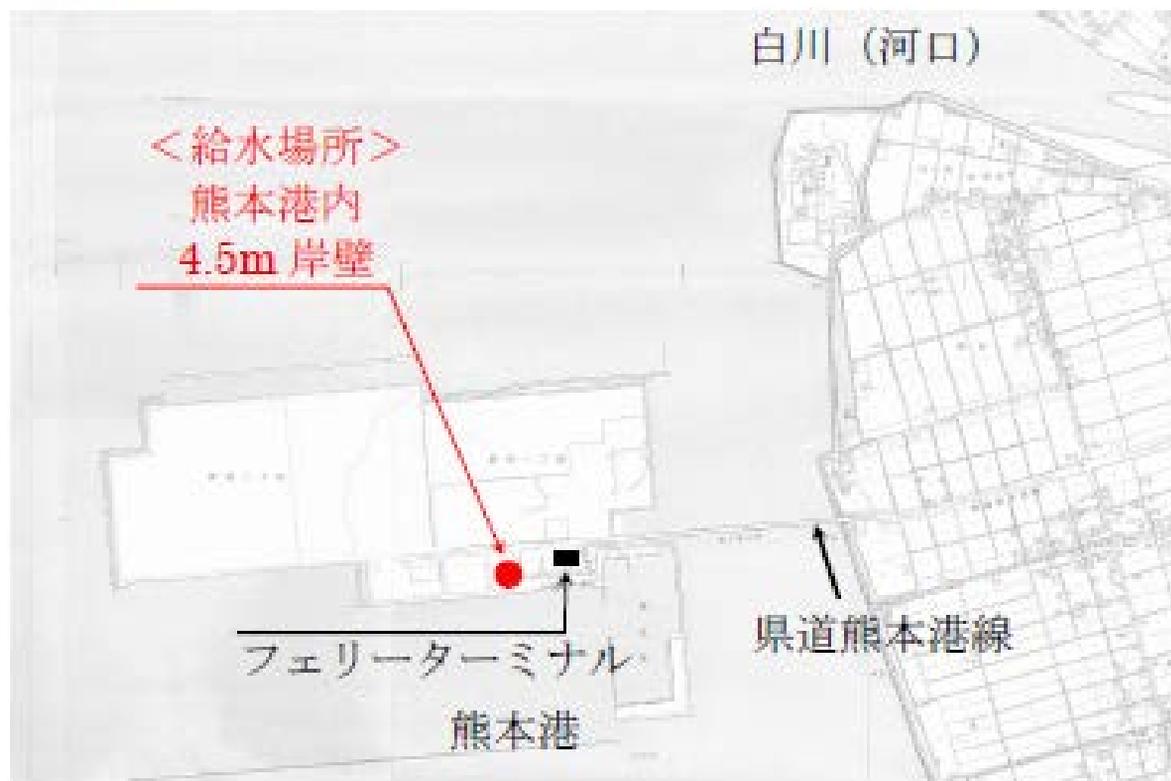


作業状況(夜間照明の下で、市民への給水作業補助)



市民への給水作業 活動場所

<給水場所>



平成28年4月17日
港湾局 海岸・防災課
海洋・環境課

九州地方整備局所有船「海輝（かいき）」、「海煌（かいこう）」により
飲料水を提供

熊本地震による断水に伴い、九州地方整備局では、熊本港内で、船舶から飲料水の提供を行っています。

1. 本日の状況

- 調査観測兼清掃船「海輝（かいき）」、「海煌（かいこう）」により、熊本港内フェリーターミナル手前の浮桟橋にて、約720名の方に、合計約12,500リットルの飲料水を提供しました。
(4月16日からの通算で、約870名、約15,000リットル)

2. 明日の予定

- 引き続き2船体制により、熊本港において朝より飲料水を提供します。
日時：平成28年4月18日(月) 7:00~21:00
場所：熊本港内 フェリーターミナル近く 4.5m岸壁
利用時は、飲料水を入れる容器をご持参下さい。

調査観測兼清掃船 海輝（かいき）



搭載量：3,000リットル

調査観測兼清掃船 海煌（かいこう）



搭載量：9,000リットル

<問い合わせ先>

国土交通省 港湾局 海岸・防災課 災害対策室 神谷
TEL:03-5253-8111 (内線 46712)
直通:03-5253-8687 FAX:03-5253-1654

国土交通省 港湾局 海洋・環境課 鈴木
TEL:03-5253-8111 (内線 46652)
直通:03-5253-8684 FAX:03-5253-1653